

令和3年10月28日

公益社団法人 北海道臨床工学技士会 会員各位

「北海道臨床工学技士会 災害時情報共有訓練」結果のご報告

「北海道臨床工学技士会 災害時情報共有訓練」に参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

今回の訓練の統括情報として、集計結果をお知らせいたします。

今回、当会の災害時情報共有体制マニュアルに沿って「HACE 災害時情報送信フォーム」を使用した訓練を行いました。

今回の集計結果は、災害時情報取りまとめ方法の一例となります。

皆様から提供いただいた災害時情報は、情報取りまとめを行い、支援を行う行政、DMAT、日本透析医会の災害時情報ネットワーク、JHAT などへ提供する事に加えて、会員の皆様へメールリングリストでフィードバックを行う体制としております。

なお災害時において、被災地域や被災施設ではスマホやパソコンによる通信ができない状況も発生します。

その場合には、通信可能な地域や施設から発信される情報から、情報発信が無い地域や施設を特定し、被災地域や被災施設を絞り込む作業を行います。

このため災害時には、「被災なし」「通常透析可能」「通常診療可能」といった情報発信も重要なので、皆様ご理解お願いいたします。

皆様におきましては、今後も災害時情報共有体制に、ご理解・ご協力よろしくお願いたします。

公益社団法人 北海道臨床工学技士会
危機管理委員会 委員長 國木 里見